

平成29年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成29年4月1日～平成30年3月31日

施設名	大和市桜森児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター桜森会館管理運営委員会 会長 中村 晴隆
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均 (人)	開館日数
桜森	97	4,775	341	187	5,400	18	308

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員1名以上の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
春の工作（牛乳パックで作る飛行機）	4/13～	42人
母の日プレゼント工作（アイスクレーンのストラップ・メッセージカード）	4/25～	84人
遊べる工作（空飛ぶコップ）	5/16	56人
父の日プレゼント工作（すべり止めカラー軍手・メッセージカード）	6/1～	96人
夏休み工作（ビーズオーナメント）	7/21～	73人
共同工作（ステンドグラス）	9/20～	65人
ふれあい広場参加（割りばし発射台）	11/5	100人
クリスマス会（メリーウィンドによる吹奏楽とハンドベルの演奏・ビンゴ他）	12/2	162人
クリスマス工作（ボンボンリース）	12/6～	55人
鏡開き	1/11	17人
雛人形作り（ミッキー&ミニ風お雛さま）	2/15～	26人
防災訓練	3/18	8人

【事業実施状況に関する補足説明】

特になし

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,640,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,415,940
雑入 (預金利息等)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	164,158
収入計 (①)	2,640,000	支出計 (②)	2,580,098

収支決算	59,902
------	--------

※収支差額 59,902 円は平成 30 年度特別会計に繰り入れます。

【収支決算に関する補足説明】

特になし

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成 30 年 3 月に利用者アンケートを実施し、平成 29 年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

<p>評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。 児童館利用の人数が前年度比 114.1%と増加したことは高く評価します。成果のあった取組みについて振り返り、更なる発展に活かしてください。 日頃の事業については、ポスターの掲示や定期的に児童館のホームページを更新する等、幅広く利用者に周知させている点を評価します。 アンケートの回収率についても、前年度同様 100.0%であり、継続して高水準を維持していることを高く評価します。今後も利用者の意見を聴取し運営の参考としてください。
<p>評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 自主事業の運営については、イベントのポスター作りやゲームの進行等を、児童に手伝ってもらうなど、児童が準備や進行を行い主体的に行事に参加できる工夫が見られます。 工作では、大勢の児童が参加しており、児童が協力してひとつの物を作る喜びや達成感を感じてもらえるように努めている点は高く評価します。また、今後も継続的におこなわれる事を期待します。 自主事業の企画内容や成果については、児童館指導員連絡会等を通じて積極的に他館へ情報発信することを期待します。また、他の児童館の人気イベントの事例を参考にしながら、児童により様々な体験の機会を与えられるよう、企画の広がりを図ってください。
<p>評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。
<p>評価の視点 4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断しています。 指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。